



No.247
令和6年8月20日

一般社団法人
滋賀経済産業協会

〒520-0806 大津市打出浜2番1号コラボしが21 5階 TEL 077-526-3575 FAX 077-526-3577
E-mail: info@s-keisankyo.or.jp URL: https://www.s-keisankyo.or.jp

令和6年度委員会活動スタート



令和6年度通常総会で委員会の活動計画案が承認され、7月から各委員の活動をスタートした。今年度は各委員会とも新委員の募集を行い、新たな委員も参加し、議論を行った。委員会では行政機関との意見交換も積極的に行い、経済界の声が施策に反映されるよう働きかけてまいります。人材不足、人件費や原材料費の高騰、円安など経済界を取り巻く環境は厳しい状況ではありますが、会員の英知を集結し、会員企業の皆様と滋賀県の発展のため、活動を進めてまいります。

以下、第1回委員会の活動を報告いたします。

労働政策委員会(7月8日)

「企業の人材確保支援と働き方改革の推進」

委員長：黒川健(東レ㈱)滋賀事業場長 常任理事滋賀事業場長)

滋賀労働局から多和田治彦労働局長をはじめ5人の幹部にご参加いただき意見交換を行った。「フリーランス・事業者間取引適正化等法」や「入管法・技能実習法の改正」や、賃金引上げに関する支援施策、リスクリング支援、外国人労働者対策、障害者雇用など多岐にわたって説明があった。参加委員からは賃上げに関して不利益変更の考え方や、法人化された個人事業主もフリーランスになるのかなどについて質問があった。

環境委員会(7月17日)

「環境保全と企業経営の両立」

委員長：高田宏規(パナソニック㈱くらしアプライアンス社 常務)

滋賀県琵琶湖環境部から中村達也部長をはじめ10名の幹部にご参加いただき意見交換を行った。事業所における計画的な省エネルギー化・再生可能エネルギー導入を促進するための支援策や補助金の説明、プラスチックごみの削減、処理・リサイクルしやすい製品の開発やリサイクル材の活用等について取組を進めて行くと説明があった。参加委員からは、今後資源が手に入らなくなることも考えられるため資源循環の仕組みづくりが必要、企業は環境問題だけでなく経営との両立を考えなければならない、成功事例の共有が必要との意見があった。

経営委員会(7月23日)

「人材の確保と育成 経営力の強化」

委員長：磯田隆雄(湖国精工㈱ 取締役会長)

近畿経済産業局から平田省司取引適正化推進室長と酒巻産業課統括係長にお越しいただき「価格転嫁対策にかかる取組みおよび国の中小企業支援施策について」と題し講演と意見交換を行った。講演では、労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関するポイントやパートナーシップ構築宣言について事例を交えながら説明があった。委員からは、行政はもっと多くの現場に足を運びヒヤリングを通して実情を把握してほしい、客先が多く業種によっても対応が異なり交渉資料を作ることの苦勞している、パートナーシップ宣言の申請の仕方、中小企業の賃上げに向けた省力化等の大規模成長投資補助金についてなど、多くの質問があった。

明日の滋賀を創造する委員会、技術委員会、総務委員会については、8月以降随時開催を予定しております。